



平成28年6月13日

各報道機関 御中

宮崎大学企画総務部 広報・渉外課

「宮崎ブルーベリー葉シンポジウム2016」の開催について

拝啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

日頃より本学の教育・研究についてご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

この度、別添のとおり、宮崎大学創立330記念交流会館にて「宮崎ブルーベリー葉シンポジウム2016」を開催いたします。当該企画は、一般の方々、学生・教職員を対象に行われ、今まで行われてきたブルーベリー葉に関する研究成果、事業活動の発表を行います。基調講演には九州大学大学院より、茶の健康機能性研究における世界的なトップランナーとして活躍しておられる立花氏にお越し頂きます。

つきましては、ご多忙中とは存じますが、下記のとおりご案内を致しますので、貴社の「インフォメーションコーナー・お知らせコーナー」等に掲載していただくとともに、取材していただきますようお願いいたします。

敬具

記

日 時：7月13日（水）14：30～19：30

場 所：宮崎大学創立330記念交流会館 コンベンションホール（木花キャンパス）

※詳細につきましては別添をご覧ください。

# 宮崎ブルーベリー葉 シンポジウム2016



※宮崎大学は平成25年度文部科学省「地(知)の拠点整備事業」に採択され、地域に根差した教育を進めております。

平成28年

**7月13日** **水** **14:30-19:30** (受付14:00~)

会場：(シンポジウム) 宮崎大学330記念交流会館 コンベンションホール  
(交流会) 宮崎大学生協 多目的ホール

定員：200名(要申込・当日受付可)

参加費：無料(※交流会3,000円は当日徴収)

## プログラム

- |   |             |
|---|-------------|
| <b>1.開会挨拶</b> 池ノ上克(宮崎大学学長)  | 14:30-14:40 |
| <b>2.開催趣旨説明</b> 山崎正夫(宮崎ブルーベリー葉シンポジウム実行委員長)                                  | 14:40-14:50 |
| <b>3.基調講演</b><br>立花宏文(九州大学大学院 農学研究院 主幹教授)<br>『緑茶カテキンセンシングと機能性デザインフード開発への展開』 | 14:50-15:40 |
| ～休憩・ポスター発表・商品展示～  | 15:40-16:10 |
| <b>4.事業成果発表(研究成果・事業活動)</b>  |             |
| ①山崎正夫(宮崎大学農学部)<br>『ブルーベリー葉の機能性に関する知見』                                       | 16:10-16:30 |
| ②松浦靖(宮崎県食品開発センター)<br>『ブルーベリー葉の特徴的成分と加工方法』                                   | 16:30-16:50 |
| ③國武久登(宮崎大学農学部)<br>『ブルーベリー葉専用品種「くにさと35号」の育成』                                 | 16:50-17:10 |
| ④宮崎大学みやだいCOC事業参加学生<br>『新しい地域資源としてのブルーベリー葉 -ボランティア活動の経験から-』                  | 17:10-17:25 |
| ⑤山本晃三((株)なな葉コーポレーション)<br>『ゼロからのスタート ブルーベリー葉栽培の今』                            | 17:25-17:40 |
| <b>5.閉会挨拶</b> 亀長浩蔵(宮崎ブルーベリー葉栽培連絡協議会 代表)                                     | 17:40-17:45 |
| <b>6.交流会</b>  | 18:00-19:30 |

**主催**：宮崎大学(産学・地域連携センター、みやだいCOC推進機構)

**共催**：宮崎県産業振興機構、宮崎ブルーベリー葉栽培連絡協議会

### <お問合せ>

シンポジウム事務局  
宮崎大学発ベンチャー企業  
(株)なな葉コーポレーション  
TEL 0984-27-3851  
FAX 0984-27-3857  
E-mail info@nanaha-miyazaki.co.jp

# 基調講演

九州大学大学院 農学研究院 立花宏文氏

テーマ『緑茶カテキンセンシングと機能性デザインフード開発への展開』



## 基調講演者の紹介

平成3年九州大学大学院農学研究科助手、平成6年講師、平成8年助教授、平成24年教授を経て現在に至る。平成24年九州大学食品機能デザイン研究センター長、平成26年日本学術振興会学術システム研究センタープログラムオフィサー。

受賞：農芸化学奨励賞（平成10年）、日本農学進歩賞（平成16年）、日本学術振興会賞（平成18年）、日本食品免疫学会賞（平成22年）、農芸化学技術賞（平成28年）、九州大学研究活動表彰（平成23,24,25,26,27年）など。

## 講演内容

本シンポジウムの基調講演では、茶の健康機能性研究における世界的なトップランナーとして活躍しておられる立花宏文先生をお招きします。立花先生には、茶の基礎研究から、研究成果の産業的な応用までお話しいたします。茶の世界の最先端に触れる絶好の機会です。

## FAX申込用紙

宮崎ブルーベリー葉シンポジウム2016

FAX 0984-27-3857

【締切】平成28年6月30日（木）

シンポジウム会場  
(交流会会場は目の前の大学生協)



### <シンポジウム・交流会>

場所：宮崎大学 木花キャンパス  
330記念交流会館 コンベンションホール  
※交流会は大学生協

申込：FAX（本用紙）またはE-mailにてお申込下さい

参加費：無料（シンポジウム）  
3,000円（交流会） ※当日330記念交流会館にて徴収

お問合せ：シンポジウム事務局（株）なな葉コーポレーション  
TEL：0984-27-3851  
FAX：0984-27-3857  
E-mail：info@nanaha-miyazaki.co.jp

## FAX申込用紙

団体名			
ご住所/ご連絡先	〒	—	
	TEL: ( )	—	
	FAX: ( )	—	
	E-mail:		
参加者	所属・役職	参加されるものに○	
		シンポジウム	交流会
備考欄			